



7月21日 玖波公民館でファッションショー「くばコレ」が開催されました。中学生を始めとした地域の人やミンダナオ島から訪れた政府研修生ら総勢200人を超すトップモデルたちが、特設のランウェイを彩りました。工夫を凝らしたコスプレさながらの衣装に観客は拍手喝采。



8月4日 「野性への挑戦」、今年は豪雨の被害でマロンの里に場所を移し、小学生40人が3泊4日でキャンプ生活を送りました。最後の夜のキャンプファイヤーは、大学生らのグループA C Tのメンバーのパフォーマンスで大いに盛り上がりました。



8月5日 早朝の大竹会館に持ち込まれた60点の朝顔の鉢。大竹地区社協主催の「朝顔づくり展」は41回を迎えました。酷暑のこの夏、皆さん育てるのに苦労した模様。投票でトップに輝いた向井千恵美さん(油見2)の朝顔は、バランス、色もよく楽しめる鉢との評価。



8月5日 大竹青年会議所創立50周年事業として、女子レスリング金メダリストで国民栄誉賞を受賞した吉田沙保里さんのトークショーが開催されました。アゼリアホールに詰めかけた観客は、「親子で叶えた夢への扉」と題し父母の存在に勇気づけられた体験談に耳を傾けました。



(右上) 8時15分、折り鶴を献納する小学生らも黙とうを捧げる。(右下)「平和への誓い」で「平和について語れる人になりたい」と言葉を結んだ横道双葉さん(栗谷小6年)も静かに黙とう。(左上) 参列者が次々と白い菊を献花。(左中)「今までで一番原爆について考えました」と話す、司会を務めた大竹高校1年の野村一輝さんと花本要くん。(左下) 総合市民会館に展示した「平和へのおもい」に式典後訪れた越水玲子さん(松ケ原町)姉妹。



沖縄県豊見城市から交歓交流で訪れた中学生も、夕刻、慰霊碑に献花した。

総合市民会館

過ち繰り返さない、73年目の夏の誓い

広島が焦土と化したあの日から73年目の夏を迎えました。クマゼミの鳴き声が降り注ぐ中、原爆慰霊碑「叫魂」像の前に多くの参列者が集い、「第36回原爆死没者追悼・平和祈念式典」が開催されました。式典は、この1年に亡くなった方を記した被爆者名簿の奉納に始まり、原爆投下の8時15分には、しめやかに黙とうが捧げられました。被爆者、遺族らの献花に続き、小、中、高校生らが「平和への誓い」で、恒久平和を訴えます。玖波中3年の古村鈴奈さんは「被爆した方々の記憶と平和への想いを引き継ぎ、過ちを繰り返さない」と次代に向けて誓いました。



7/28

阿多田島

竿のしなりに一喜一憂

29回を数える「あたた愛ランドで釣り大会」には、市内外から60人が参加しました。漁村センターで行われた開会式を終えると、ここぞと思うポイントへと急ぎます。各人が防波堤や砂浜に陣取り、真夏の海に釣り糸を投げ込み、アタリを待ちます。勝敗は釣果の重さで競うため、数で稼ぐか、大物で決めるか、竿先がしなると、一喜一憂の様子です。気温急上昇の日差しを浴びて、午前中から4時間の格闘の末、計量に臨みます。チヌやスズキを釣り上げた上位入賞者にはもちろん、釣果ゼロの人にもサプライズ賞品が用意されていました。抽選で申し込み番号の2番を引き当て、広島カープのチケットを手にした山内愛さん(南栄2)は、「釣り大会には一番乗りで申し込みました。家族で観戦します」と、思わぬ収穫に満面の笑みを浮かべていました。



(上右) 本町から参加した長光泰知くん(高2)「粘って残り時間わずかまで釣り上げました」と優勝のチヌを披露(上中) 最初に釣ったキスを手にした平井進さん(玖波7)。(上左) セイヨウギザミを釣ったのは熊野町から参加の松丸来輝くん(中1)。(下) あきらめモードに入り、ばんやり海を見つめます。



今年で3回目の参加、カワハギを釣った黒杭拓真くん(小5)。

3位に入賞した行田友也くん(高2)と1.2キロのチヌ。



(右) 飛び散る星が弧を描く。(左) 花火が終わっても夜店は夜更けまでこった返します。みんな楽しかったかな。



7/26

川面に映す花火満開

小瀬川下流

「大竹・和木川まつり花火大会」が開催され、夏の夜空に1000発の大輪が咲き誇りました。夜のとはりが下りると、川の兩岸は大勢の観客で埋め尽くされます。打ち上げの制限が迫ると、上流からは灯ろうが、蛇行しながら漂います。それを合図かのように、待ちかねた花火が夜空を彩ります。花火を堪能した後は、立ち並ぶ夜店の中を行き交う浴衣姿の人たちで、にぎわいをみせていました。

2次募集

地域の課題に取り組む 市民活動支援事業

問い合わせ
自治振興課 ☎92142



市民活動団体が地域の課題を解決するために提案・実施する事業を募集し、助成金を交付します。

対象団体 市内の5人以上で活動する非営利活動団体

※ 代表者および会則などを定めている団体に限る。

対象事業 次の要件を全て満たす事業

① 市民を対象にした地域課題を解決することを目的としている。

② 非営利で自主的・主体的に実施する。

③ 平成31年3月末までに実施・完了できる。

申し込み 申請書に事業計画書などの必要書類を添付し、9月28日(金)までに自治振興課へ。

※ 募集要領は自治振興課に備え付けています。市のホームページにも掲載しています。

助成金の種類など		
助成金の種類	スタート支援助成金	ステップアップ支援助成金
活動歴の別	4月1日現在における活動歴が3年未満の団体	4月1日現在における活動歴が3年以上の団体
対象事業	従来事業(団体本来の事業)	新規事業のみ(ただし従来事業であっても新しい課題を掲げて取り組むものは可)
助成内容	活動歴が3年に達する年度までを限度に最大3回まで交付可	1事業につき1回交付
上限額	5万円/回	10万円
募集件数	2件	1件
選考方法	申請書類による審査(申請の先着順) ※ 3件目以降の申請は、募集期間終了後のステップアップ支援助成金の結果により交付決定を行います。	申請書類による審査(評価点数の高い事業)

※ 助成金は全て予算の範囲内で交付します。また申請事業に他の助成金などを重複して受けることはできません。